

平成25年度(2013年度) 施政方針

誰もが憧れる 都市を目指して



町田市長 石阪 文一

平成25年(2013年)第1回市議会定例会が開会され、石阪市長は2月27日の本会議で施政方針を表明しました。

ここでは、その概要を掲載します。全文は町田市ホームページをご覧ください。

企画政策課 ☎724・21033 ☎050・33085・33082

2013年度の 市政運営の視点

今、世界は大きな競争の時代を迎えています。これまで町田市を含む東京圏は、高い競争力を維持してきました。しかし近年、シンガポールや上海などのアジアの都市が急速に力を付け、東京を脅かす存在になりつつあります。

また、我が国では人口減少社会に突入しており、2011年度の人口は、対前年比で約21万人減少したとされています。今後、人口減少のペースは更に加速することが見込まれ、町田市においても将来にわたって人口減少に対するさまざまな対応が必要になると考えています。

5つの「未来づくりプロジェクト」

1つ目は「地域社会づくり

2013年度の 重要な取り組み

「まちだ未来」(Machida Future)、「町田市新5ヵ年計画」を推進してまいります。

2つ目は「町田駅周辺の魅力を向上させるプロジェクト」です。

これまでは、中心市街地、とりわけ重点検討地区として位置付けている小田急町田駅周辺地区や原町田一丁目地区



4つ目は「みどりを活用したまちづくりを推進するプロジェクト」です。

2013年度は、景観作物の栽培や園路整備などを行い、薬師池西公園を部分開園いたします。

そして5つ目は「基幹交通機能を強化するプロジェクト」です。

また、中心市街地の魅力を高めるため、長年の懸案事項であったコンベンションホールについても、求められる機能や、規模を想定するための基本的な調査を行い、整備に向けた検討に着手いたします。

3つ目は「団地再生に向けたプロジェクト」です。

これまでは、団地居住者に対するアンケートやグループヒアリングを行い、20年後を見据えた団地再生基本方針の策定作業を進めてまいりました。

2013年度は、既にモデル地区としてスタートしている木曾山崎団地地区を始め、団地周辺地域も含めた地域ごとの特性に応じた課題を調査し、取り組み方針などについて検討する地域の協議会を順次立ち上げます。

町田市未来づくり 研究所

町田市民の生活や企業の活動は、市内だけで完結するものではなく、東京や日本、更には世界と密接な関わりを持っています。今日、世界の至

るところで、経済状況や自然環境などが刻々と変化しております。こうした変化にいち早く対応し、町田市にふさわしい政策や施策を打ち出すには、世界の中の日本、その中の町田市といった広い視点で物事を捉えることや、これからの社会情勢の変化も見据えて考える必要があります。

そこで、政策形成能力の向上と、将来の社会構造を見据えた対応力を形成するため、社会動向や経済動向を調査・分析し、新たな政策や施策の提言を行うための政策形成集団として「町田市未来づくり研究所」を創設いたします。

資源循環型施設

町田市では、ごみの有料化、戸別収集、剪定枝資源化センターの設置など、ごみの減量化や資源化に向けたさまざまな取り組みを行ってまいりました。そして、2011年4月に、環境負荷の低減を図り、地域と共生する持続可能な循環型社会の実現を目指して、町田市の一般廃棄物処

理の基本となる「町田市一般廃棄物資源化基本計画」を策定いたしました。

この基本計画の実現に向けて、「町田市資源循環型施設整備基本計画検討委員会」を設置し、新たなごみの資源化施設整備基本計画の策定に向けた、施設の規模や型式などの基本的な考え方、建設候補地の選定について検討を重ねてまいりました。この委員会からの報告を受け、本年2月に市として、新たな「ごみの資源化施設」の在り方と建設地の選定をいたしました。

まず、焼却施設、バイオガス化施設などを一併整備する「熱回収施設等」は、「町田リサイクル文化センター」敷地内に整備したいと考えます。

また、ビン・カン選別処理、プラスチックの中間処理施設などで構成する「資源ごみ処理施設」は、収集車の台数や移動距離を削減し環境への負担軽減を図られることや、施設の代替性と補完性を備えられること、そして地域住民のごみの資源化に関する意識の向上を促す拠点として、市内3か所に分散化し整備を図ります。

具体的には、「相原エリア」に整備を進めるとともに、「上小山田西部エリア」において、地域のまちづくりの配慮しながら協議を進めてまいります。

更に、鶴間にある



稼働から30年が経過した清掃工場 (町田リサイクル文化センター)

更に、鶴間に

あります、ごみの中継基地「リレーセンターみなみ」にプラスチック中間処理機能の追加を進めてまいります。

今後、2020年の稼働を目指し、周辺にお住まいの皆様と話し合いを進めながら取り組んでまいります。

むすびこ

冒頭申し上げましたとおり、我が国は、世界的規模での都市間競争の時代を迎えております。今、日本中の都市が、知恵を絞りながら自らの魅力を高めるための取り組みを行っております。近隣自治体では、企業誘致、市街地の再開発など、それぞれの自治体が、都市の強みを伸ばす、あるいは、都市として弱い機能を補うなど、さまざまな取り組みが行われています。

都市間競争を勝ち抜くためには、「住みたい」、「訪れたい」、「活動したい」と思えるような都市の魅力を他の都市以上に高めていくことが必要です。

この大きな目標は、行政の取り組みだけで達成できるものではありません。幸い町田市では、市民自らが地域の課題解決に取り組んできた歴史があります。この大きな財産を基に、市民、団体、事業者と協働して、多くの人々や企業から選ばれ続ける、魅力ある都市を築いてまいりたいと考えております。

市民の皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。